

TPA



Newsletter

Vol. 28 August 2006

会員の皆様におかれましては、平素よりTPA・JTECS事業に格別のご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。泰日経済技術振興協会(TPA)日本語ニュースレター“TPA Newsletter”8月号をお届けいたします。今後とも、変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

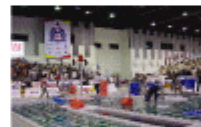


プーミポン国王陛下御即位60周年をお祝い申し上げますと共に、国王陛下のご健康をお祈り申し上げます



TPA 最近の活動

◆ TPAロボットコンテスト ◆



5月20-21日、モールデパート バンカピ店にて TPA Robot Contest Thailand Championship 2006を開催しました。タイ全国より、94チームが、今年のテーマ“ツインタワー・ビルダー”に挑みました。2日間の熱戦の結果、キングモンクット工科大学バンコク北校“クルウアイ・トー”チーム(写真1)が優勝を勝ち取り、また今大会上位16チームは、ABUロボコン世界大会の切符をかけたタイ大会「ABU Robot Contest Thailand Championship 2006」への出場権を獲得しました。

また、ロボットのバト力を競う「PLC Competition」では、ではラーチャモンコン大学“TURNPPO EN”チーム(写真2)が、高校生ロボコンTPA Robot Grand-prix Junior 2006における迷路競技「Robo Fire Fighting」では、チャイヤブーン・バックディーチュムボン高“CB Robot”チーム(写真3)が、ダンスとサッカーの技を競う「Robo Dancing & Robo Soccer」ではパタナカーンパーンヤイ校“ルーク・プラブ롬・エー”チーム(写真4)が、それぞれ優勝しました。



今大会は、TOYOTA MOTOR THAILAND、DENSO INTERNATIONAL (THAILAND)、NSK GROUP IN THAILAND、SONY GROUP IN THAILAND、MITSUBISHI ELECTRIC AUTOMATION (THAILAND)、NEC CORPORATION (THAILAND)、THAI STANLEY ELECTRIC 各社のご協賛を得て開催いたしました。協賛いただきました企業の皆様に厚く御礼申し上げます。



DENSO

NSK

SONY

NEC



STANLEY

◆ 総会 ◆

5月27日、バナナカーン新館において、2006年定時総会を開催しました。2005年度事業・会計報告、2006年度新規事業報告、泰日工業大学プロジェクト進行状況報告などを執り行いました。



泰日工業大学プロジェクトについて
説明するクリッサダー副会長



◆ 第24回ABKタイ語検定試験 ◆

6月4日、「第24回ABKタイ語検定試験」が、東京・大阪・名古屋・バンコクにて全国同時に開催されました。全国より90名が、日頃の学習の成果を測るべく参加しました。



ベストセラー技術書表彰者

◆ エンベデッドソフトウェア研修 ◆

6月15日、タイ人エンジニアへのエンベデッドソフトウェア研修プロジェクト: Embedded Software Training alliance for Thai Engineer (EATATE Project) 第一フェーズのオープニングセレモニーを開催しました。

当プロジェクトは、TPAとタイ国エンベデッドシステム協会 (TESA) の共催、日本貿易振興機構 (JETRO) 後援により実施されるもので、タイ国におけるエンベデッドシステム技術者の育成のため、タイのエンベデッドシステムエンジニアに、タイにおける6ヶ月の研修ならびに日本での1年間のオンザジョブトレーニングにて実践的な実力をつける事を目的とした。



EATATE Project MOU締結(右より、JETRO黒田所長、
TPAブルーーン会長、TESAバンサック会長)

◆ 「職場での異文化コミュニケーションを考える —タイ人との仕事の仕方—」セミナー ◆

6月29日、日本の永住権もお持ちのNECのパイロート氏を講師に迎え、日本の方々の大きな関心事である、タイ人との仕事の仕方についてのセミナーを開催しました。セミナーでは、単に話を聞くだけでなく、グループワークを通しての意見交換により、タイの人々の考え方の理解や対応の鍵を探りました。



◆ スピーチコンテスト ◆

6月17日、TPAスクンビット本館において、第25回ソーソーター泰日スピーチコンテストを開催しました。全国49名の申し込みの中から選抜された19名が、日頃の成果を発揮し見事なスピーチを披露しました。

遠くチェンマイからの参加もあった中、学生部門では『でぶの私が思うこと』のMs. Jirapa Wonnachodakeさん(写真1)、一般部門では『運命—ディスティニー』を発表したMs. Nashara Siamwallaさん(写真2)が、見事優勝を勝ち取りました。



◆ 三井住友銀行より泰日工業大学へ寄贈 ◆



7月19日、三井住友銀行より、TPAにて設立中の泰日工業大学へ、机500台、コンピューター111台、パーティション616個など、多数の備品、機材を寄贈いただき、三井住友銀行バンコク支店にて、贈呈式を行いました。

左から、(TPA)バンディット事務総長、クリサダ副会長、スポン前会長、(三井住友銀行) 東代表取締役、古川バンコク支店長、オラワン副支店長、ピムピモン顧問

◆ JCC 坂野新会頭表敬訪問 ◆

5月25日、JCC坂野新会頭を表敬訪問しました。TPA名誉顧問へのご就任についてご快諾いただきました。



◆ Welcome ! 最近の主なご来訪者 ◆



● 麻生 塾 ●

6月30日、福岡県 麻生塾より、TPAおよび泰日工業大学の建設現場の視察に来訪されました。

● JICA TAHRDP ミッション ●

6月28日、JICA TAHRDP ミッション (団長：佐々木JICA経済開発部長) がTPAに来訪され、設立中の泰日工業大学との将来的な協力について議論しました。

お知らせ

◆ 改善活動のための新情報誌 ◆
『Creative & Idea Kaizen』

TPAでは、品質管理情報誌 月刊『for Quality』の別冊誌として、改善活動のミニ情報誌『Creative & Idea Kaizen』を発刊いたします。

改善活動は、仕事の効率化を生み出すだけでなく、考える人を育てる重要な活動です。『Creative & Idea Kaizen』は、日本HR協会発行 月刊『創意とくふう』より、翻訳・転載させていただいており、イラストや写真を使った数々の具体例の紹介により、わかりやすく改善が理解でき、改善活動推進にお勧めの情報誌です。定期購読をご検討下さい。

年間購読料 : 450円-7
9月発行開始!!

担当連絡先 : Tel. 0-2258-0320 Ext. 1750, 1740

改善標語コーナー

人を責めず
方法を攻める



「マズイやり方」のままでは
「直すつける」「は直しる」と
人を責めても、問題の解決にならない

「マズイやり方」を攻め
「マズイやり方」を変えないかぎり
同じような問題は繰り返して発生する

「人を責める会社」と
「方法を攻める会社」——
どちらが働きやすいだろうか？
どちらが**問題解決**できるだろうか？

日本HR協会
「カイゼンカレンダー」より

◆ QC大会参加企業募集 ◆



2007年3月6-9日、第24回QC大会“Thailand Quality Prize 2007”を開催いたします。QCサークル活動は、QCの考え方・手法の勉強を通して、合理的なものの見方と科学的な手法や課題解決法を身につけ、活動を通しチームワーク・信頼関係を築く重要な活動です。御社のQCサークル活動のレベルを測るため、さらなるレベルアップのため、是非ご参加下さい。

- ① QC Prize : これまでに5テーマ以上のQCCを実施してきたサークル対象 (サービス部門/製造部門)
- ② Junior QC Prize : QCC活動を開始して3年未満の事業所で、QCC実績が5テーマ以下のサークル対象 (サービス部門/製造部門)

申込費用 : 1,200円- (VAT含む)

申込締切 : 2006年8月25日



担当連絡先 : Tel. 0-2717-3000~29 Ext. 771-776 e-mail : nqm@tpa.or.th

今後の予定

◆ 第2回 TPA Automation Kaizen Award ◆



2006年10月4-5日、第2回TPA Automation Kaizen Awardを開催いたします。大会では、最終5社のプレゼンの他、日本から専門家を招いての特別講演等を実施いたします。現場の活性化と作業員の意識の向上をももたらす現場の改善の優秀事例に触れ、からくり改善の推奨・推進の参考とするためご参加下さい。

また、10月8日には、日本人講師によるからくり改善セミナーの開催を予定しております。併せて参加をご検討下さい。



◆ 第5回5S大会 ◆



2006年11月16-17日、ニューペブリ通りソイ・スウィチャイのRoyal Golden Jubilee Buildingにおいて、第5回TPA 5S大会「5th Thailand 5S award 2006」を開催いたします。

大会では、最終審査を通過した5社のプレゼンテーションの他、日本人専門家による特別講演やパネルディスカッションなど盛りだくさんの企画を準備しております。

あらゆるマネジメントの基礎であり、社員教育の重要な要素である5S活動推進のため、是非スタッフの派遣をご検討下さい。



語学部より

◆ スクンビット本校タイ語コース ◆

コース	受講日	時間	受講料(ﾊﾞｰﾌﾞ)	申込期間	開講期間
初級	月～金	9:00～11:30	6,800	7/3～8/5	8/25～10/19
"	"	"		8/15～9/17	9/25～11/20
初級【夜】	月・水・金	18:30～20:30	6,900	6/28～9/1	9/11～11/20
中級	月・水・金	9:00～11:30	6,500	5/30～9/13	9/18～12/22
タイ文字	火・木	9:00～11:30	6,600 (6～7名)	8/30	9/14～12/7
会話復習	月・水・金	"	5,800 (8～10名)	7/13	7/19～9/13
"	火・木	"	5,100 (11名以上)	9/12	9/19～12/12
短期集中 タイ語会話	月・水・金	13:00～15:45	3,000	7/28	8/2～8/30
"	"	"	"	9/8	9/13～10/9

- * これら前期コース終了後、引き続き後期コースが開校されます。(会話復習コース除く)
- * 受講者が定員に満たない場合には、開校されない場合がございます。
- * 「タイ文字」「短期集中タイ語会話コース」は、観光ビザの方でも受講できます。
- * 初級・中級につきましては、観光ビザでは受講できません。日本国内の姉妹団体(財)アジア学生文化協会 ABK アジアセミナーを通してお申し込みください。就学ビザの取得ができ、午前コースへの申し込みが可能です。
問い合わせ先: seminar@abk.or.jp

タイ語コース担当連絡先 : Tel. 0-2258-0320 Ext. 1640, 1641 e-mail : thschool@tpa.or.th

◇ タイ語のビジネスコミュニケーション ◇

タイで働くビジネスマンのためのビジネス会話コースです。 仕事でタイ語を使う再の、便利な表現・言い回しなどの会話学習のほか、タイ人の考え方・ビジネススタイルなども指導します。先生が教えたい内容ではなく、学生が知りたいことを臨機応変に教えてゆくことに重点を置いたコースです。

	初級	中級
受講期間	2006年8月9日～12月20日 水曜 18:30～20:45	2006年8月9日～11月15日 水曜 18:30～20:45
時間数	40時間(20回)	30時間(15回)
受講料	5,900ﾊﾞｰﾌﾞ	5,500ﾊﾞｰﾌﾞ

申込締切: 8月4日

プログラム

- 会社のタイ人の同僚や部下にタイ語で仕事を頼んだり、確認するのに便利な表現
- 顧客との会話(ネゴ、クレーム、問い合わせ、電話)
- ビジネス専門用語、会議で使う表現
- タイ人の考え方、ビジネススタイル、仕事上での注意点など

◇ ポー6準備コース ◇

タイ語学習の総仕上げとして、12月開催のタイ語能力テスト「ポー6」受験を考えていらっしゃる方を対象に、ポー6準備コースを開講いたします。年1度の機会です!

コース期間 2006年9月1日～11月24日(110時間)
 金曜 13:00～16:00 ディクテーション・音読
 土曜 9:00～11:30 読解
 12:30～16:30 作文・手紙作文

受講料 9,800ﾊﾞｰﾌﾞ
 申込締切 8月28日(定員15名)

担当連絡先 : Tel. 0-2258-0320 Ext. 1640 e-mail : thschool@tpa.or.th

★ 出版部より

◆ 新刊翻訳書籍のご案内 ◆

書籍は、TPA Book Center（スクンビット本館、パタナカーン新館、ランシット分校）、及び一般書店にて販売されております。一部TPA出版物は、JCCでも、ご購入いただけます。



『しばわんこの和のこころ』 L-06S1 290n⁺-7

『しばわんこの和のこころ 2 -四季の喜び-』 L-06S2 290n⁺-7

『しばわんこの和のこころ 3 -日々の愉しみ-』 L-06S3 290n⁺-7

（日本語オリジナル：白泉社発行：川浦良枝著）

シリーズ合計50万部突破中のベストセラー絵本のタイ語版です。和の心を持った柴犬しばわんこがみけにゃんこと共に、昔から伝わる「和のこころ」を暮らしの中で楽しむ方法を季節の移り変わりとともに教えてくれます。タイの方に日本の文化を知ってもらうのに最適なシリーズです！



『犬のことば辞典（犬が教えてくれた本）』 L-06IK 195n⁺-7

（日本語オリジナル：理論社発行、北山葉子著）

ぼくとポチのシリーズ。ポチが監修しことばの意味をまとめた辞典です。犬の日常生活にもっているとべんり。人もっているとべんりです。

みんなの日本語 初級Ⅰ（上）（下）Ⅱ（上）（下） 各250n⁺-7

『みんなの日本語 初級 ローマ字版』 ①② 各250n⁺-7

（日本語オリジナル：スリーエーネットワーク、スリーエーネットワーク編）

『みんなの日本語ローマ字版』の出版に伴い、『みんなの日本語初級 タイ版』

をリニューアルしました。CDセットで250n⁺-7と、便利な上に変化が豊かになりました。



☆ 在タイ日本人のための、日・タイ クロスカルチャー講座（第15回） ☆

（本講座は、TPA書籍「日本 クロスカルチャー タイ」から、内容を一部抜粋しております）

「学歴」

日本では、現在、大学進学率が約50%近くと高くなっており、大卒者は、エリートであるという感覚はほとんどない。その点、タイでは、大学進学率が約15%程度であり、大卒者はエリートであるという感覚は依然強い。

しかし、日本では、大学まで終われば就職する学生がほとんど大勢を占めるのが一般である。日本で、大学以上の大学院修士課程、博士課程まで修めた人は、一般企業の中に、果たしてどれほどいるだろうか。また、働きながらさらに夜間の大学院に通ったり、わざわざ仕事をやめて大学院へ戻るといったような、向学心のある人は、ごくごく少数派である。最近では、不況で就職先が見つからず、仕方なく大学院へ進むといった消極的な進学をする学生もおり、一部、研究職や教職に就こうという人を除いては、大学院まで行こうという学生は少なく、学士を終えればそれで充分と考える日本人は多い。一方、タイでは、大学を終えても、さらに上の大学院へという意識が強く、職場で働きながら学校へ通ったり、仕事をやめて大学院へ通うという人が結構いて、周囲もそれを理解・尊重している。タイでは、学士だけでは不十分、さらに上の、修士や博士に対するこだわりが、特に上流社会では強い。これは、タイが日本以上に、学歴重視の社会であることも理由の一つであろう。

ちなみに、タイの有名な大学としては、国立大学は、チュラロンコン大学を筆頭に、タマサート大学、カセサート大学などがある。私立大学では、アッサムション大学（ABAC）、バンコク大学などがある。タイでは優秀な学生は、医学部や工学部へ進学するケースが多い。

*「日本 クロスカルチャー タイ」は、TPA Book Center各書店、バンコク日系書店、JCC、日本人会別館などで好評発売中です。（199ページ）

★ セミナー一部より

<http://www.tpif.or.th/>

◇ 日本人対象『労働保護法』セミナー ◇

日系企業の皆様により良い職場環境の構築を目指していただくため、元中央労働裁判所陪審員で労働省顧問を講師にお招きし、日本人管理者の方々を対象に、労働保護法のコースを開催いたします。

日時 2006年8月21日（月曜日） 9：00～16：30
会場 Amari Atrium Hotel
受講料 TPA会員：3,000 Baht / 一般：3,500 Baht（VAT・昼食含む）

担当連絡先：Tel. 0-2717-3000～29 Ext. 81

◇ 日本人専門家による特別セミナー「商品企画とTRIZ」◇

昨年に続き、現在世界各地で急速に普及が進み、かつ進化を続けているTRIZ問題解決理論のセミナーを開催いたします。

今回は、日本におけるTRIZ推進の中心的機関 産能大学 TRIZセンターより講師をお招きし、TRIZを商品企画に活用する手順を学びます。

日時 2006年9月26～29日（火～金） 9:00-16:30
会場 パタナカーン新館
受講料 TPA会員：8,000 ฿ / 一般：9,000 ฿（excluding VAT）
2006年8月20日までに申込（お振込み）の特典：10%割引
講師 黒澤慎輔氏、産能大学 経営開発本部TRIZセンターTRIZ担当部長

プログラム新TRIZ概要

TRIZの商品企画活用手順

- ・ 企画する商品の基本機能群の理解
- ・ 市場分析
- ・ 進化をもたらす資源の分析
- ・ 進化シナリオの作成
- ・ 商品を実現する上での技術的問題の解決

担当連絡先：Tel. 0-2717-3000～29 Ext. 751, 763 e-mail: jaruwadee@tpa.or.th

◇ 『Product and Process Innovation by TRIZ』研修団 ◇

まだタイではなじみの少ないTRIZの実施例に触れ、TRIZの理解を深めるため、アジアにおけるTRIZ先進国日本へのTRIZ研修団派遣を実施いたします。

TRIZ手法で成功した企業や、新製品・新技術の展示会「2006産学官技術交流フェア」を視察いたします。

日程 2006年10月7日～14日
料金 TPA会員：65,000 ฿ / 一般：75,000 ฿（excluding VAT）

担当連絡先：Tel. 0-2717-3000～29 Ext. 751, 763 e-mail: jaruwadee@tpa.or.th

◇ 労働省指定『安全管理者』セミナー ◇ 協力：JCC

日本人管理者を対象に実施している『安全管理者』セミナーです。労働福祉省より受講が義務付けられているコースですので、まだ受講されておられない方は是非ご参加下さい。

日時 第58回：2006年9月12-13日（火・水） 9：00～16：30
第59回：2006年11月14-15日（火・水） 9：00～16：30

会場 The Imperial Tara Hotel (Sukhumvit 26)
受講料 TPA会員・JCC会員：5,500 Baht / 一般：6,000 Baht（VAT・昼食含む）

担当連絡先：Tel. 0-2717-3000～29 Ext. 713

TPA日系法人会員募集

会員の皆様には、会報「TPA News」や技術情報誌「Technology」などを通じた情報提供、および、セミナー研修、日本語コース、書籍やその他サービスの割引などの特典がございます。

TPA会員特典を生かし、タイ人スタッフへの教育、企業研修にご活用頂きたく、ご検討の程よろしく願い申し上げます。

日・タイ経済協力協会 (JTECS) は、TPA事業に関する、日本側からの支援事業を行っております。
東京都文京区本駒込 2-12-13 (アジア文化会館)
Tel : (03)3946-0841(代) Fax : (03)3946-0896
e-mail : admin@jtecs.or.jp <http://www.jtecs.or.jp>

JTECS

編集・発行



TPA : 泰日経済技術振興協会 (タイ語略称: ソーソーター)

Technology Promotion Association (Thailand-Japan)

<http://www.tpa.or.th>

日本語でのお問い合わせは、日本人スタッフまでお願いいたします。

Tel. 02-258-0320 浅見 Ext. 1913 ・ 蕨内 Ext. 1912

【スクンビット本館】

- 語学事業 (日本語、タイ語、英語、中国語)
- 出版事業 (語学テキスト、技術書、文化本、日本語書籍からの翻訳出版を含む)

5-7 Sukhumvit Soi 29, Bangkok 10110 Tel. 02-258-0320 Fax. 02-662-1017



【パタナカーン新館】

- セミナー研修事業 (技術、経営など)
- カリブレーション、水質検査事業
- IT事業
- 中小企業診断、診断士育成事業 (タイ国工業省委託)

534/4 Pattanakarn Soi 18, Bangkok 10250 Tel. 02-717-3000 Fax. 02-719-9481